

「絵のぐと水の

ハーモニー」

絵のぐを水でといて、いろいろな線をかきましょう。ふでにふくませる水の量をかえると、こい色の線やうすい色の線がかけます。水の量や色をかえたり、細い線、太い線、ぐるぐるの線などを組み合わせたりして、かいてみましょう。

じゅんびするもの

- ・ 絵のぐセット
 - ・ 新聞紙
 - ・ 画用紙
- (なければふつうの紙)

やりかた

気をつけること

・ いろいろな線を組み合わせてかいているうちに、なにかに見えてきたら、作品に題名を付けましょう。

・ 図工の教科書 「できたらいいな」の8～9、50～51ページを見てみましょう。

・ 必ず新聞紙をしき、その上でかきましょう。



絵の具



画用紙



水さい用具

絵の具と水の ハーモニー

絵の具を水でといて、
いろいろな点や線で
かこう。

学習のめあて

-  **筆の使い方や水のりょうをくふうしよう。**
-  絵の具遊びから、かきたいことを考えよう。
-  絵の具でかくことをたのしもう。

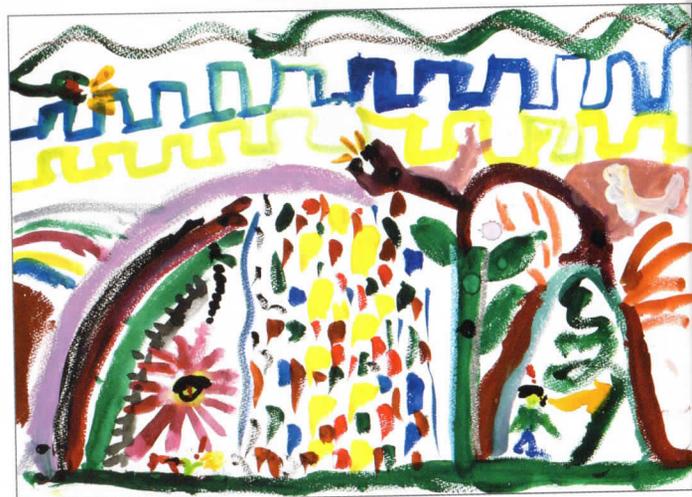


筆の動かし方を
くふうしました。

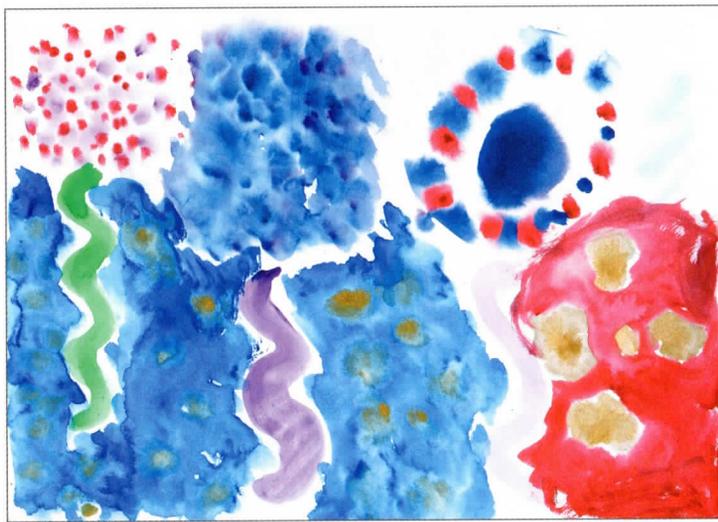
2まい目は
画用紙をたてに
してかいています。



ふしぎな遊園地 (色画用紙/38×54cm)
「いろいろな線をかいたら、遊園地のようにになりました。」



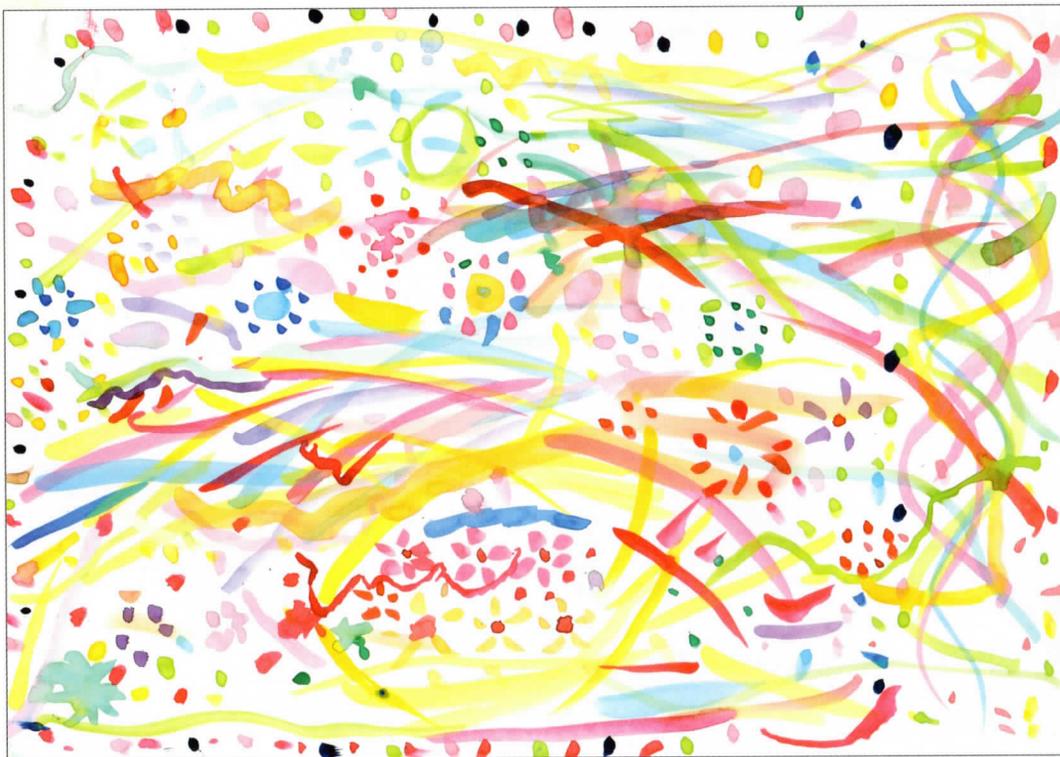
おもしろい島 (31×44cm)
「水のりょうをへらして、かすれた線もかきました。」



花火 (31×43cm) 「水のりょうを多くしてかきました。」



つぎ次はどこからかこうかな。



春のお花畑 (38×54cm) 「てんてんでかいたら、お花畑に見えてきた。」



水のりょうをくふうしよう。

● 絵の具と水はなかよし



QR



水のりょうはこのぐらいでいいかな。



絵の具と筆の使い方



筆せん(水入れ)の使い方

①→②→③のじゅん番で使う。

①筆を
あらう
ところ

③水を
ふくませる
ところ

②すすぐ
ところ

筆せんのふちで
水を切って、
筆先を整える。



パレットの使い方

大きいところは、
絵の具をといたり、
まぜたりする部屋

まぜる色や、
まぜるりょうを
くふうして、
つくりたい色を
見つけよう。

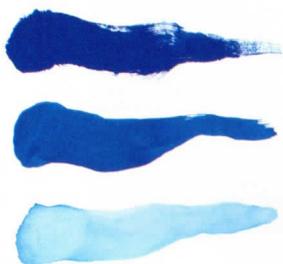
小さいところは、
絵の具を出す部屋。
いつも同じ部屋に
同じ色を出そう。

絵の具をまぜる部屋が
足りなくなったら、
ふき取って、
また使おう。



●水のりょうをかえて

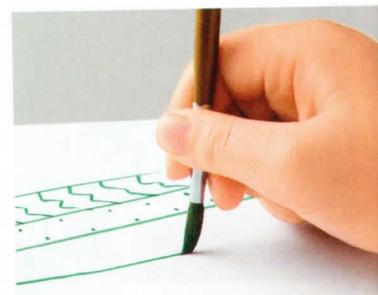
タオルの上で、筆につけた水のりょうをちょうせつする。



●筆の持ち方と使い方



太くかくときや、広い面をぬるときは、
じくの太い部分を持って、ねかせてかく。



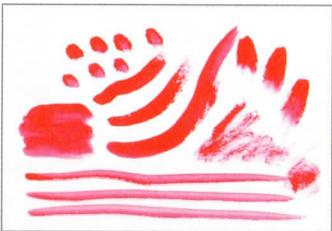
細くかくときや、細かいところを
ぬるときは、筆先を使って、立ててかく。

あらわ
筆による表し方のちがい

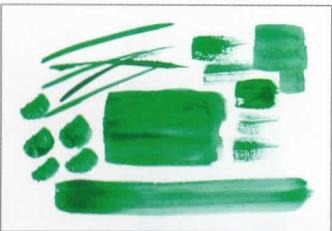
[細い筆で]



[丸筆で]



ひら
[平筆で]



つか
筆使いのくふう



線で表すときは、線の太さ、こさ、いきおいなどをくふうする。



点を打つように、筆を動かしてかく。

かたづけ



絵の具チューブの先をふいてから、ふたをする。



根元から、やさしく、水でよくあらう。



水分をふき取り、筆先を整える。

Let's try!
ためして
みよう

水のりょうをくふうして、いろいろな線や点をかいてみよう。

